JAMCA ジャムカ ニュース
The Japan Automobile Maintenance Colleges Association
No.45
2005年4月1日
発行　全国自動車整備専門学校協会
協会事務局　〒160-0015　東京都新宿区大京町31
ヴィップ新宿御苑　☎ 03-3356-7066
編集事務局　〒125-0002　東京都葛飾区西亀有3-28-3
☎ 03-3601-2535　FAX 03-3601-2988
ホームページアドレス http://www.jamca.jp/

自動車大学校の必然性

全国自動車整備専門学校協会会長
関東工業自動車大学校理事長
中川　裕之

わが国の教育システムは、初等・中等・高等の三つのカテゴリーに分類され、初等教育は、幼稚園・小学校、中等教育は、中・高等学校、高等教育は、大学・短大・専門学校から成り立つ。

かつ、専門学校は、専修学校制度に位置づけられている。

ところが、専修学校制度には、中等教育機関である中卒を対象とする高等課程がふくまれていることから、社会における制度の認識に混乱がある。

一例を挙げると、各都道府県における高卒者の進路統計資料における分類が、大学・短大・その他であり、在籍学生数において短大の二倍を占める専門学校が「その他」であること、社会一般に、特に高学歴者間において、専門学校が高等教育に属しているとの認識が薄く、専門学校が中卒対象者であるとの誤解も多い。

現在、わが国は決定的な価値観の転換点を迎え、混乱と前進を繰り返している。教育システムにおいても、同様である。

ＪＡＭＣＡは、教育システムを考えるとき、教育を提供する側の論理ではなく、受ける側である高校生とその両親にとっての理想の教育を考えている。

産学連携についても同様である。

本来、高等教育へ進学する意味は、若者達が、社会生活における自己実現を通じて、国家の発展に貢献してゆくための基礎を構築することである。

いかなる多様化した価値観を所有していようと、若者達が一生に一度しかない人生を充実させるためには、職業の選択が人生最大の意思決定になる。

したがって、高等教育への進学は、職業選択が目的であり、学校選択はその手段に過ぎない。

高等教育進学を目的としたブランド志向的学校選択では、若者達が将来において自己実現の可能性が極めて低くなる。

大学生の就職率が50%、専門学校生の就職率が83%という数字がその事実を証明している。自動車整備士の就職率は、ほぼ100%であることを明記しておく。

ＪＡＭＣＡは、高校生が人生最大ともいえる学校選択を誤らない為に、四年制のファーストクラス・オートモビル・エンジニア（一級自動車整備士）を対象に、自動車大学校という名称を使用する。このことにより、ブランド志向的学校選択から、将来の職業選択を目的とした手段としての学校選択というコンセプトを社会に明確にしていくきっかけになると信じ、広く社会に理解を求めてきた。

国土交通省には、若者達の人生を第一に考え、彼らが、自己実現を通じて積極的にわが国の発展に貢献してゆける教育というコンセプトをご理解いただくとともに、「自動車大学校」名称使用に加えて、その名に恥じぬ教育の質の向上を期せとのご指導をいただいた。

ＪＡＭＣＡは、全国のＪＡＭＣＡ加盟校に在籍する学生の為に、教育の質の向上を図ってゆかなければならない重大な責任を負ったことになる。

その為には、会員校間の競争により教育の質を向上させるという、偏ったマーケット理論ではなく、お互いの学校の私利私欲を乗り越えて、若者達に幸せな将来を与える為の教育の質の向上に、会員全員で協力してゆくことであると考えている。

新規の国家検定に対して、ＪＡＭＣＡスタンダードカリキュラムを制定し、全国での会員校の教育の質の向上を図っていることなどは、団体としてわが国初の試みであり、加えて、全国統一模擬試験、ソーシャル検定等は、会員校の持っている固有のノウハウをオープンにしているからこそできることでもある。

ＪＡＭＣＡは、将来のわが国を担う若者達が夢と希望を持ち、自己実現を通じて社会に積極的に貢献してゆけるよう、教育の質の向上に責任を持ちたいと考えている。

■ CONTENTS ■

2面　OPINION
3面　我が校自慢
4･5面　個人情報保護法　本格スタート
6面　協会トピックス
7面　活躍卒業生・地区通信
8面　私の教材活用・編集後記